

# 手書き文字のどこにパーソナリティの違いを感じるのか<sup>1</sup>

○井関 龍太

大正大学 心理社会学部



## 問題

### 手書き文字からは人となり伝わる？

- ・手書き文字からのパーソナリティ推定の信頼性は低い (Lilienfeld et al., 2010)
  - ・手書き文字から推測したパーソナリティと書き手の実際のビッグファイブ特性の相関は低い (松野, 2012)
- 手書き文字から**パーソナリティを推測**することは難しい

### 手書き文字からパーソナリティについて一貫した印象を抱くことは事実

- ・**手書き文字の感性的印象**と推測したパーソナリティ特性には中程度から高い相関 (松野, 2012)

**本研究の目的**：手書き文字のどのような特徴が特定のパーソナリティ特性を感じさせるのかを探索的に検討

## 方法

**刺激**：20名の成人が夏目漱石の『道草』の一部（句読点を除いて481字）を原稿用紙状の記録紙に書写した

**質問紙**：ビッグファイブ尺度短縮版（並川他, 2012）から開放性因子を除いて12項目を選んだ

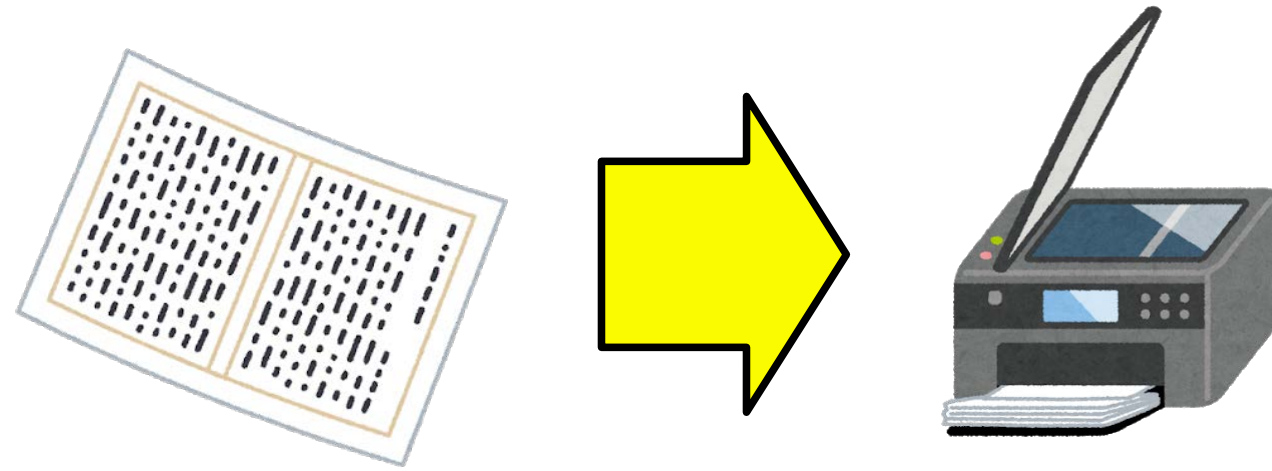
**実験参加者**：手書き文字を提供したのとは異なる大学生20名（うち女性11名，平均年齢21.9歳）

**手続き**：各実験参加者は，異なる書き手による刺激を5セットずつ読んだ。文章を読み飛ばすことのないように一文字ずつ指で追いながら読むことを求めた。各刺激について，書いた人のパーソナリティを想像して，ビッグファイブ尺度を用いて5段階で回答することを求めた。

## 結果と考察

### 分析の方針

i) 手書き文字の画像化

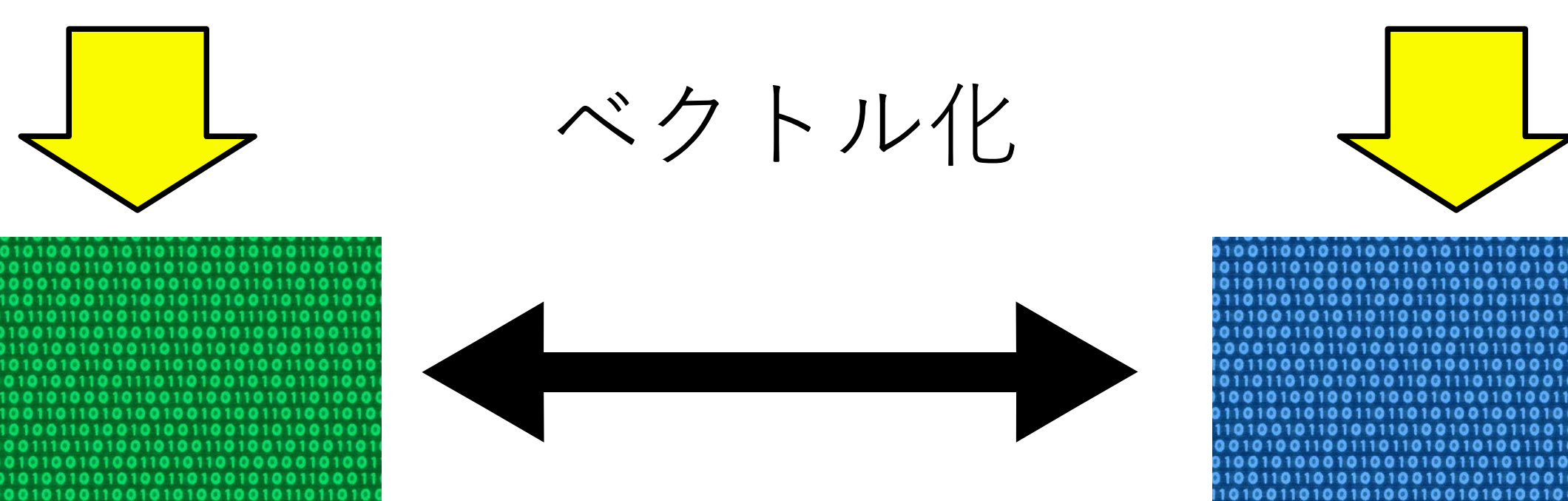


※一文字ずつの画像に分割

ii) 平均文字の作成



※各文字に約160名の筆記者  
手書教育漢字データベースETL8  
(産業技術総合研究所, 1989)



相関係数の算出

個人の特異性が現れている文字ほど平均文字との**類似性が低い** = **相関が低い**はず

### 外向性

※左が個人の手書き文字，右が平均文字に手書き文字を赤に変換して重ねたもの

高いと評定された人の文字    低いと評定された人の文字



- ・平均文字より大きい
- ・線が太い

- ・平均文字より小さい
- ・線が細い

### 調和性

高いと評定された人の文字    低いと評定された人の文字



- ・上下方向への伸び
- ・メリハリがある

- ・くずれている
- ・定型的でない

### まとめ

- ・パーソナリティの印象を左右する特徴を示唆
- ・より定量的な評価方法の必要性

<sup>1</sup>本研究は2017年度に大正大学人間科学科に提出された石井真実さんの卒業論文に基づくものです。